



取組事例集

平成28年 3月

宮崎県福祉保健部

はじめに

本県では、高齢化が全国より早いペースで進んでおり、社会保障に必要な費用も年々増加しています。また、平均寿命が延びる一方で、日常生活に制限が生じ、生活の質の低下や介護負担の増大を招く状況が見られます。

そのような中、平成27年3月に、県総合計画「未来みやざき創造プラン」を改定し、2030年に「健康寿命 男女とも日本一」を目標に掲げ、平成27年7月から「健康長寿社会づくりプロジェクト」に取り組んでいます。

健康寿命とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことで、平成27年末に発表されたデータによりますと、本県男性の健康寿命(平成25年)は71.75歳(全国8位)、女性は75.37歳(全国4位)となっております。

今後ますます健康寿命の延伸を図るためには、県民自らが家族や仲間とともに「健康づくり」や「いきがいづくり」に積極的に取り組むことが必要であり、様々な団体等が健康長寿社会の実現に向けた環境づくりを行うことが大変重要となってまいります。

このため、平成27年度に企業、事業所及び各種団体の健康づくりの取組を表彰する「健康長寿推進企業等知事表彰」を創設しました。第1回の知事表彰を受賞された企業等におかれては、従業員やその家族、地域住民等の健康づくりにおいて、模範的な取組を長年にわたって実施されています。

この事例集では各企業等の主な取組を紹介しております。広く御活用いただき、健康づくりに取り組むにあたっての環境づくりの参考になれば幸いです。

結びに、この事例集作成にあたり、御協力いただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成28年3月

宮崎県福祉保健部長 桑山 秀彦



健康長寿推進企業等知事表彰とは

従業員やその家族、地域住民等の健康づくりに対して、模範的取組を継続して行っており、今後もその活動が期待できる企業、事業所及び各種団体（以下「企業等」という。）を対象に、平成27年度からその取組を表彰する制度を設けました。本県企業等における健康づくりの取組の一層の推進を図り、青壮年期から心身にとって健康的な生活を習慣化することにより、県民全体の健康寿命を延伸させることを目指しています。

平成27年度健康長寿推進企業等知事表彰実施概要

主 催	宮崎県
実施期間	【応募期間】 平成27年11月 2日～平成27年12月18日 【選考委員会】平成28年 1月19日 【表彰式】 平成28年 2月10日 午前11時00分～11時30分 会場：宮崎県庁本館2階講堂
表 彰	【最優秀健康長寿推進企業等賞】 従業員とその家族の健康づくり部門 1団体 地域住民等の健康づくり部門 1団体 【優秀健康長寿推進企業等賞】 従業員とその家族の健康づくり部門 3団体以内 地域住民等の健康づくり部門 3団体以内



表彰基準

1 従業員とその家族の健康づくり部門

次の項目のうち、3つ以上の項目に該当し、今後もその活動が期待でき、他の模範と認められるものであること。

- (1) 従業員やその家族の定期健康診断、がん検診の受診率向上のための取組を実施している。
- (2) 従業員の定期健康診断の要精密者を減少させるための取組を実施している。
- (3) 従業員のたばこによる健康被害を減少させるため、受動喫煙防止や喫煙対策を実施している。
- (4) 従業員やその家族の身体活動を促進する取組を実施している。
- (5) 従業員のメンタルヘルス対策を実施している。
- (6) 従業員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に配慮した取組を実施している。
- (7) 上記以外で、健康づくりに資する特徴ある取組を実施している。

2 地域住民等の健康づくり部門

事業活動や社会貢献活動の一環として、地域住民等の健康づくりに資する取組を実施し、今後もその活動が期待でき、他の模範と認められるものであること。

平成27年度 健康長寿推進企業等知事表彰

1 従業員とその家族の健康づくり部門



最優秀健康長寿推進企業等賞

ラピスセミコンダクタ宮崎株式会社 4



優秀健康長寿推進企業等賞

ソーラーフロンティア株式会社 生産本部 国富工場 6

旭化成株式会社 延岡支社 8

株式会社 興電舎 10

2 地域住民等の健康づくり部門



最優秀健康長寿推進企業等賞

北浦元気塾 12



優秀健康長寿推進企業等賞

NPO法人 のべおか健寿ささえ愛隊 13

和知川原一区さんさんクラブ 14

矯正・小児ひまわり歯科 15



(4) 身体活動を促進する取組



健康づくり委員会を組織し、数年前から家族参加型の屋外健康づくりイベント・四季を通した各種イベントを実施している。

- ・ 2015年度は青島でウォーキングイベントを実施し、30名以上の従業員とその家族が参加した。
- ・ 9～10月の2か月間の歩数合計、BMI改善値から上位入賞者を表彰するウォーキングキャンペーン等を実施している。

(5) メンタルヘルス対策

10年前から精神疾患対策を強化し、2015年度は、メンタルヘルス不調による休職者を確認していない。

- ・ 精神科の医師、看護師を招聘し、従業員教育やコラムの発行等を実施している。
- ・ 人事担当者や地域の病院と連携し、メンタルヘルス不調者の復職プログラムを構築している。
- ・ 半年毎に『快適職場アンケート』とヒアリング調査を実施している。

(6) ワーク・ライフ・バランス（WLB）に配慮した取組

CSR活動（企業が社会的責任を重視して行う活動）を精力的に実施し、各種教育への反映および年1回のCSR月間等を実施している。

- ・ 会社がWLBに誠実に取り組むことを掲げたガイドブックを全社員に配布している。
- ・ 従業員は、家族の介護、学校行事等に対応できる目的別休暇（最高50日取得可能）、フレックス勤務を更に柔軟にした勤務制度、時差勤務、短時間勤務等の制度を活用することができる。

(7) 上記以外で健康づくりに資する特徴ある取組

「ウォーキングを兼ねたゴミ拾い活動」を実施している。

- ・ 健康づくり委員会の取組で、毎月1回30～40分程度ウォーキングを兼ねたゴミ拾い活動を実施している。（感染症予防のため12～3月は中止）
- ・ 健診結果を部門ごとに分析し、所見者が多い部門の推奨月間を設け、健康意識の改善につなげる。
- ・ 近隣企業（数社）と協力した清掃活動『KINRINクリーン活動』を年2回実施している。



（担当者の声） 総務部 環境管理グループ 黒木 奈緒子 様



2008年度から健康づくり委員会を組織し、日々健康増進活動に取り組んでいます。委員は各職場から選出し、従業員のニーズを把握し、活動に活かせるよう心がけています。従業員からは健康維持の取組以外にも、心身の健康増進、職場間のコミュニケーションの機会を求める声が多く、近年は、屋外イベントの企画・開催やメンタルヘルスに関する情報発信に力を入れています。

今後はこれらの取組に加え、従業員やご家族の人間ドック受診率向上に力を入れ、疾病の早期発見・早期治療に繋がたいと考えています。

【優秀健康長寿推進企業等賞】

ソーラーフロンティア株式会社 生産本部 国富工場

企業等概要

- ・設 立：2006年8月
- ・業 種：電気機械器具製造業
- ・従業員数：500名（国富工場）
- ・所 在 地：宮崎県東諸県郡国富町田尻1815
- ・事業内容：CIS薄膜太陽電池の研究開発、生産、販売、同製品を使った発電システムの販売、発電所建設プロジェクトの開発・遂行、発電事業の運営・保守サービス



(1) 定期健康診断・がん検診の受診率向上のための取組

定期健康診断受診率100%を継続している。

- ・法定項目以外の検診を実施している。
 - 35歳、40歳以上：胃がん検診（バリウム）、大腸がん検診、腹部超音波検査、眼底検査
 - 女性全員：子宮頸がん検診、乳がん検診
 - 55歳以上男性：PSA検査

(2) 定期健康診断の要精密者を減少させるための取組

要精密者には、産業医・保健師・管理栄養士が必要に応じてアドバイスをを行い、再検査・治療が必要な場合は追跡調査を行っている。

- ・「脂質異常症の1割削減」を目標とした取組を今年度から実施している。全社員に食生活意識調査を実施し、毎月、健康コラム「食生活改善シリーズ」を配布している。
- ・健康診断結果は、社員全員に個別配布し、個々に合わせた指導で行動変容につなげている。
- ・産業医は月2回、保健師は常勤、管理栄養士は月3日の勤務で常時相談できる。

(3) たばこによる健康被害を減少させるための取組

全ての喫煙所を屋外へ移し、屋内禁煙とした。

- ・今までは、工場内で完全分煙だったが、昨年オープンエアーの有効性を確認し、全ての喫煙所を屋外へ移し屋内禁煙となった。喫煙による健康障害等の勉強会や喫煙所の空気環境測定等を実施している。

(4) 身体活動を促進する取組

社員会イベントでスポーツ大会を実施している。



- ・参加率は50%以上で、交代勤務のため、年2回スポーツ大会を実施している。
- ・春～夏はソフトボール大会またはミニバレー大会、運動会、冬はボウリング大会等を行っている。
- ・第1回MRT企業対抗運動会に工場長をはじめ交代勤務者・日勤者が合同でチームを結成し参加した。
- ・福利厚生で社員・家族が利用できるベネフィット会員に登録（県内で利用できるスポーツ施設、温泉等選択して推奨）し、運動や余暇の活用を推奨している。
- ・始業前のストレッチ体操、日勤は15時にラジオ体操を実施している。

(5) メンタルヘルス対策

毎年全従業員が勉強会を受講、休業後も復職できる体制を整えている。

- ・メンタルヘルスの相談、休業中、復職時の面談は保健師・産業医が中心となっており、復職時の体制をより良いものにできるよう所属との連絡・調整を行っている。
- ・社内対応で十分でないと感じる場合、リワーク支援を勧めている。
- ・長時間残業については、40時間以上からチェック、60時間以上には問診票提出を義務付け、80時間以上は申し出がなくても産業医面談を実施している。

(6) ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組

「両立支援の基本方針」を策定し、県の「仕事と家庭の両立応援宣言」を実施している。

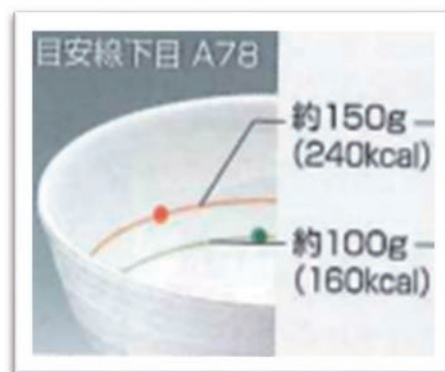
（男性の育児休暇取得実績あり）

- ・毎週水曜日の全体朝礼時に当番がノー残業デーを呼びかける。
- ・水曜日の定時以降は、所属長が残業者に帰宅を呼びかける。できない時には、曜日を変えて週内に定時退社するよう促している。

(7) 上記以外の健康づくりに資する特徴ある取組

社員食堂で様々な健康イベントを開催している。

- ・年2回サラダバイキングを実施している。
- ・8月に「1日分の野菜350gを計ってみよう」で野菜を実際に測定する取組を行っている。8月・12月は「血管年齢測定」等で、栄養相談希望者を募り管理栄養士の相談会を実施している。
- ・平成27年12月からカロリー茶碗を導入した。



季節に応じた健康情報を発信している。

- ・社内メールでインフルエンザ流行情報（工場内の罹患情報含め）、感染性胃腸炎、熱中症、食中毒等の情報提供で注意喚起を行っている。
- ・工場内の食堂と全てのトイレにうがい液・手指消毒液を設置（常設）している。

インフルエンザ予防接種を実施している。



（担当者の声） 総務人事部 人事労務グループ 友枝 珠枝 様

今回、社員の健康づくりの取組を見直す機会を作っていただき感謝しています。

喫煙所の整備は長年の課題でした。食堂利用、休憩室の整備、各イベント企画を通じて総務人事課の個々に担当した地道な取組が全てつながっていると改めて感じました。

【優秀健康長寿推進企業等賞】

旭化成株式会社 延岡支社

企業等概要

- ・ 設 立：1931年5月21日
- ・ 業 種：総合化学メーカー
- ・ 従業員数：5,414名
- ・ 所 在 地：延岡市旭町2-1-3
- ・ 事業内容：旭化成グループの最大の生産拠点として6つの工場群(東海、岡富、恒富、愛宕、長浜、日向)と90余年の歴史を有す。旭化成各事業領域でグローバルNo.1の製品を生産し、安全・健康づくり・地域との共生を図るための活動を積極的に行っている。



(1) 定期健康診断・がん検診の受診率向上のための取組

定期健康診断受診率100%を達成している。

- ・ 定期健康診断と同時に肺がん・大腸がん・胃がん検診(胃透視)を実施している。
- ・ 胃がん検診(胃内視鏡検査)、子宮頸がん検診は受診希望者を取りまとめて市内の医療機関と連携して実施している。また、乳がん検診は利便性を図るため、検診バスを利用し、各工場で実施している。

(2) 定期健康診断の要精密者を減少させるための取組

定期健康診断の要精密・要治療者には産業医による受診勧奨、予備軍には保健師等による保健・運動指導を実施している。

- ・ 職場の上司は、定期健康診断後受診が必要な従業員に個別面談・受診勧奨している。
- ・ 乳がん・子宮頸がん要精密者には、文書・電話等で受診後も支援している。



(3) たばこによる被害を減少させるための取組

ウォーキングイベントとコラボして禁煙希望者を募集、6か月間禁煙サポート実施後、2015年度は59名の参加者中20名が禁煙、30名が減煙を達成した。

- ・ 月1回、産業医巡視の際、喫煙室の環境確認を行い、工場担当者の協力を得て改善している。
- ・ 年2回、喫煙室に禁煙啓発ポスターと禁煙外来紹介の資料を掲示している。

(4) 身体活動を促進する取組

2007年から9年間「やっちゃんな!ウォーキング」を継続して実施している。

- ・ 6か月間職場の仲間と声を掛け合いながら運動を継続して行う。
- ・ 2007年度参加者は936名、2015年度は2530名に増加した。
- ・ バレーボール等、レクレーションや運動会などのスポーツ大会を工場毎に企画・実施している。

(5) メンタルヘルス対策の取組

約15年前から継続実施している。

- ・一次予防：メンタルヘルス教育
(管理職・一般職向け)
- ・二次予防：年1回ストレスチェック
心理相談窓口の設置
過重労働防止対策の実施
- ・三次予防：復職支援(含リハビリ勤務制度の活用)
復職ガイドの活用と啓発



(6) ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組

家族へのサプライズ企画

- ・旭化成労働組合が、毎年クリスマスイブに「サンタ大作戦」を実施している。サンタに扮した若手組合員が、組合員のお子様・お孫様に夢を届けることで、家族の素敵な時間を作るお手伝いをする。この活動は30年以上続いている伝統的な活動で、今後も組合員の「ライフ」に寄与できるよう継続する予定。(申込数：約100世帯)



(7) 上記以外で健康づくりに資する特徴ある取組

歯科健診の実施

- ・毎年実施、地区を2分割して実施するため対象者は隔年の受診となる。
- ・糖尿病に罹患している従業員には、歯科健診の受診勧奨のパンフレットを配布。
- ・歯科のポスターを276か所に掲示している。
- ・安全衛生委員会で生活習慣病と歯の健康、歯科健診受診勧奨について啓発教育を行っている。



(担当者の声) 旭化成健康管理センター 保健師 上杉 自子 様



～歯科健診導入の理由～

歯科健診を導入して30年になります。開始当時、歯科の医療費に占める割合が高く、医療費抑制と成人期における歯の健康管理の重要性を認識し、歯磨き指導も含めた歯科健診を導入しました。現在も医療費に占める割合は約15%と高いことから、今後も継続した取り組みの必要性を感じています。

【優秀健康長寿推進企業等賞】

株式会社 興電舎

企業等概要

- ・設 立：1949年2月
- ・業 種：電気工事業・電気機械器具製造業
- ・従業員数：263名
- ・所 在 地：延岡市浜町222番地1
- ・事業内容：電気を安全・安心・効率良く使用できるサービス、システムを提供。地元根付いたより良い商品やサービスを提供し、社会貢献している。



(1) 定期健康診断・がん検診の受診率向上のための取組

嘱託社員・パート社員も正社員同様に定期健康診断を受診し、すべての社員に健康診断の機会を提供している。

- ・社員の希望する病院で定期健康診断を受診できるようにしている。
- ・社内イントラネット等を活用し、社員毎に受診日の打ち合わせを実施している。
- ・仕事の都合で健康診断の日程を決められない場合、直属の上司を通じ日程調整を行う。

(2) 定期健康診断の要精密者を減少させるための取組

外部から保健師を招いて、保健指導を実施している。

- ・平成26年度は、外部から保健師を招き、異常所見のあった社員を年4回に分けて保健指導を実施した。
- ・定期健康診断において、「要精密」「要治療」の所見があった社員に二次検診を受診するよう強く勧奨する。

(3) たばこによる被害を減少させるための取組

喫煙時間を指定し、勤務中の喫煙本数の低減を促進している。

- ・喫煙時間を指定することにより、二次的な効果として、仕事の効率向上につながっている。
- ・喫煙できる場所を屋内・屋外各1か所に限定し、その他の事務所、工場内、駐車場内は禁煙とし、分煙を図っている。

(喫煙室のドアの貼り紙)



(4) 身体活動を促進する取組

2012年から会社行事の1つとして体力テストを実施している。

- ・毎年継続実施することで、時系列で体力年齢の変化を確認し、加齢や日常生活との関係を把握できる。そこで、体力年齢をもとに運動・生活習慣の改善に活かすよう啓発している。
- ・毎日始業前に社員全員でラジオ体操を実施している。
- ・平成24年「ラジオ体操優良団体等表彰」（かんぽ生命・NHK・NPO法人全国ラジオ体操連盟等主催）を受賞した。
- ・ゴルフコンペの企画等、様々な運動のイベントを企画している。

体力テストの様子



(5) メンタルヘルス対策

ラインケア(管理監督者が社員への個別の指導・相談や職場環境改善を行う取組)研修を年1回管理職・指導職層を対象に実施している。

- ・メンタルヘルスを専門に取り扱う会社と顧問契約を締結し、長時間労働やメンタルに不調をきたした社員等にカウンセリングを実施している。
- ・社員ごとの労働時間の集計結果を管理職層へ通知、社員の労働時間の改善指導を実施している。
- ・一定時間を超えた場合、顧問との面談を義務化している。

(6) ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組

有給休暇取得のしやすい環境づくり(子どもの参観日や行事への参加を推奨)を行っている。

- ・週1回ノー残業デーを設定し、推進している。

(7) 上記以外で健康づくりに資する特徴ある取組

- ・防災訓練の実施
- ・JR線沿いの除草等

(担当者の声) 経営管理部 松田 亨 様

～体力テストを行ったきっかけについて～

背景として年齢の高い社員の増加と積極的な新規採用による若年者の増加が挙げられます。基礎体力は年齢とともに低下しますし、近年では若年者の基礎体力の低下がいられています。普段の生活からは客観的に自分の基礎体力を知る術がほとんどありません。社員の健康管理の一つの方策として体力テストを取り入れました。基礎体力を認識することにより生活習慣病の予防や体力向上に役立てることができ健康維持に効果的と考えています。

～継続させる秘訣について～

経営者層の理解と社員の積極的な協力が継続する秘訣と考えます。毎年、会社スケジュール(就業カレンダー)を決定する際に主要な会社行事の日程も決定されます。その中に体力テストも入っています。健康な心身を保つことが安全で品質の良い仕事に繋がられるという考えのもと会社と社員が一体となって取り組んでいます。



2 地域住民等の健康づくり部門

【最優秀健康長寿推進企業等賞】

北浦元気塾

団体概要

- ・所在地：延岡市北浦町
- ・会員数：50名
- ・活動内容：住民運営型デイサービス。廃校になった学校を利用し、地域住民に根ざした健康づくり活動を実施している。参加者自らが資金を出し合い、日々活動するため、補助金等の支援は一切受けていない。



取組1 毎週1回以上集まり、日頃から身体を動かす意識をもって活動している。

- ・地区住民（近隣も含む）を対象に性別・年齢に関係なく、多くの健康体操や活動を毎週1回以上実施。介護に頼らない体力づくりのために、階段を昇る際に手すりを使用しない、できるだけ遠いところまで意識して歩く等、日常生活でできることからコツコツ取組み、継続している。
- ・また、皆で集団検診を受診する等、自身の身体を知ることが目的とした取組を実施し、日々健康づくりに努めている。

取組2 小・中学校に赴き、世代間交流を行うことが心の健康にもつながっている。

- ・定期的に地域行事に参加、自分達でイベントを開催、小・中学校に出向き授業参観、調理実習支援、世代間交流、校内美化活動等を実施。子どもたちと塾生が仲良くなると共に、地域貢献活動が心の健康にもつながっている。
- ・小学校には、毎年雑巾と運動会で使用するお手玉の贈呈、中学校には、毎年雑巾、ソーラン節に使う大漁旗法被の贈呈（修理も含む）、手作りの卒業記念品の贈呈等を行っている。



取組3 町内の手の行き届かない場所の清掃や花植えを行っている。

町内美化や廃校になった分校の清掃・管理を行っている。

（担当者の声） 代表 河野 奈美子 様

自分達にできることに積極的に取組み、地域や子ども達に貢献する姿勢を生きがいとして実感できていることが継続につながっています。塾生同士助け合いながら、健康づくりをはじめとした活動を行っている姿は自発的でとてもいきいきしています。現在の塾生は50歳から95歳まで、元気に活動しています！



【優秀健康長寿推進企業等賞】

NPO法人 のべおか健寿ささえ愛隊

団体概要

- ・設 立：2011年5月
- ・所 在 地：延岡市東本路131番地5
のべおか市民協働まちづくりセンター2階
- ・隊 員 数：約30名
- ・活動内容：特定非営利活動法人。地域医療への過剰な負担を軽減し、延岡市民が元気で安心して暮らせる「健康長寿のまちづくり」を目的とするボランティア団体。延岡市健康長寿推進市民会議の計画と連動しながら健康づくりに関する諸活動を実施している。



取組1 「どんだけ健康会」を実施している。

各種団体の協力のもと、「楽しくて、面白くて、ためになる♪」をスローガンに、地域住民を対象に楽しみながら健康づくりに触れる企画を各種開催している。

内容：各種測定（血圧・体力・骨密度測定等）、ストレッチ等の実演、食生活改善推進員による減塩味噌汁の試飲、お医者さん体験、九州保健福祉大学生によるお薬教室や薬剤師体験、等



取組2 情報誌や番組の発信

- ・情報誌「どんけん（旬な健康情報を提供し、地域住民の健康づくりに役立ててもらう）」を発行し、延岡市の広報誌と同時に発送している。
- ・平成27年度からFMののべおかで健康情報番組「どんけん」を月1回放送している。

取組3 小中学校での講話及び手洗いチェックの指導

衛生教育に関心を持ってもらえるよう、インフルエンザ等の感染症を中心に、生徒や保護者に講話を行っている。他にも手洗いチェッカーを使用した手洗い方法の指導、養護教諭部会や保育調理師部会などでの健康講話も行っている。日向市や椎葉村等延岡市外でも活動。

取組4 のべおか健康サポーター養成講座

家族や友人等、身近な人に健康の大切さを伝えていくための人づくりを目的として行っています。講座内容は、糖尿病、高血圧、認知症、感染症等。



（担当者の声） 事務局 大野 成美 様

「健康サポーター養成講座」、「手洗い隊」の活動、「ためになる情報の発信」に加えて、各地の公民館での健康教室の開催など、新しい試みも検討中です。ささえ愛隊では随時隊員を募集しています。年齢、性別問いません。健康づくりの専門家でなくてもOKです。一緒に楽しく健康長寿のまちづくり活動をしてみませんか。

【優秀健康長寿推進企業等賞】

和知川原一区さんさんクラブ

団体概要

- ・所在地：宮崎市和知川原一区
- ・会員数：60名
- ・活動内容：宮崎市老人クラブ連合会所属の単位老人クラブ。地域における様々な健康づくり、会員同士の助け合い、社会奉仕活動を行っている。



取組1 2009年からほぼ毎日、ラジオ体操を継続して行っている。

- ・会員の健康維持目的のため、2009年から現在までほぼ毎日ラジオ体操を実施している。この活動は、認知症予防や1人暮らし高齢者の安否確認等にもつながっている。
- ・クラブ活動として実施していく中で、現在では地域の人も参加するようになり、特に夏休みになると児童と保護者の親子連れでの参加が増え、三世代交流の場となる。



寒くても、雨が降っても負けません。
コツコツ取り組んでいます。

取組2 会員の近況確認やイベントの企画

- ・会報を作成し、皆で会員の情報を共有している。
- ・ウォーキング活動等のイベントを企画している。



(会長の声) 徳地 市次 様



今後も会員拡大に努めると共に、この事業（ラジオ体操）を継続・発展させていきたいと思っています。

【優秀健康長寿推進企業等賞】

矯正・小児ひまわり歯科

団体概要

- ・設 立：1999年8月
- ・所 在 地：宮崎市大塚台東1-32-9
- ・従業員数：27名
- ・事業内容：矯正歯科・小児歯科。生活の中の歯科診療、街の健康ステーションを目指している。やりがいがあって努力できる職場、「何のために」やるのか常に考えながら行動している。



※取組1～3は全て無償で実施している。

取組1 ハッピースマイル教室の開催

平成16年7月15日から3か月に1回、院外産婦人科医院で子育て中の方・妊産婦を対象に歯の知識・予防対策を伝えている。院内でも3か月に1回、同様の取組を実施している。



取組2 ブラッシング訪問指導

毎月、小学校や保育園（各施設月1回以上）を訪問し、約40分人形の媒体を使用しながら、わかりやすく個人にあわせた指導を心がけて実施している。



取組3 管理栄養士や保育士を導入したサービスの提供

平成27年12月から歯のことだけでなく、食事のサポートも行えるように管理栄養士による栄養指導を実施している。

母親か兄弟の検診をサポートできるように保育士による託児サービスを行っている。

（担当者の声） 院長 柿崎 陽介 様

～院外活動に力を入れている理由～

むし歯や歯周病は生活習慣に大きく関係していて、予防できる疾患なので医院に来る方だけでなく広く地域の方にも知識をもっといただきたいと考えています。

そこで、当医院では歯科に関係なく、七夕祭りやハロウィン、クリスマスイベントも開催しています。お着替えを準備し、季節、行事を子どもたちと一緒に楽しみイベントを通して恐怖心の緩和、街の健康ステーションと認識していただけるように務めています。



健康長寿推進企業等知事表彰 取組事例集

平成28年3月

発行 宮崎県福祉保健部 健康増進課
〒880-8501
宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号
電 話 (0985) 26-7078
F A X (0985) 26-7336

